

## 4 整理の状況

### (1) 整理・刊行までの工程

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う発掘調査のうち、平成 23 年度から平成 27 年度にかけて得られた調査成果について整理作業を実施した。今年度は 5 か年計画の 2 年目に当たり、遺物整理、遺構図の整理・編集、自然科学分析を実施した。報告書の刊行は今後調査する予定の遺跡を含め、平成 31 年度である。

		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1 次整理	遺物注記	■■■■■			■■■■	
	接合	■■■■■			■■■■	
	選別	■■■■■			■■■■	
	復元	■■■■■			■■■■	
	実測	■■■■■	■■■■■		■■■■	
2 次整理	遺構図整理	■■■■■			■■■■■	
	遺構トレース		■■■■■	■■■■■	■■■■■	
	遺物トレース		■■■■■		■■■■	
	写真撮影			■■■■■		■■■■■
分析	自然科学分析	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	
報告書	原稿執筆	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	
	図表			■■■■■	■■■■■	
	編集・校正				■■■■■	
	刊行					■■■■■
収納	収納					■■■■■

### (2) 今年度の整理作業

#### ア 遺物整理

今年度は出土遺物のうち土器の実測・拓本を 2,378 点、石器の実測を 371 点、木器の実測を 102 点、金属器の実測を 36 点行った。実測・拓本を実施した遺物は観察表を作成し、遺跡ごとに収納した。

#### イ 業務委託

今年度は遺物実測・拓本・トレース、遺構図の編集、自然科学分析について、各業務を外部に委託して実施した。

遺物実測は土器実測・トレース 425 点、土器トレース 2,378 点、石器実測・トレース 371 点、木器実測・トレース 102 点、金属器実測・トレース 36 点を実施した。

遺構図はエリア別の遺構配置図 7 点、遺跡毎の全体遺構図の整理・編集 59 点を実施した。

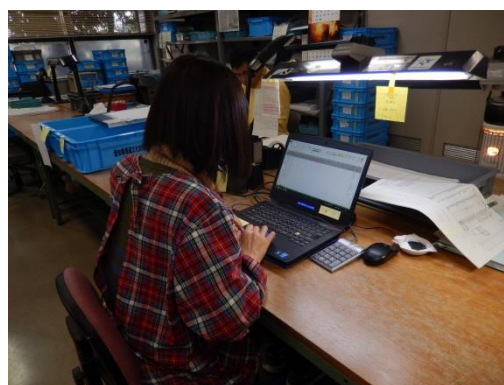
自然科学分析は製鉄関連遺物金属学的調査 10 点、種実同定および放射性炭素年代測定 30 点、放射性炭素年代測定 87 点、黒曜石産地同定 130 点について実施した。

#### ウ 学識者の招聘

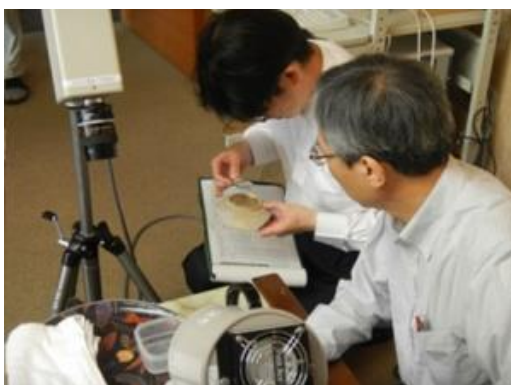
今年度は 6 月 7 日に西宮秀紀氏（愛知教育大学教育学部特別教授）・古尾谷知浩氏（名古屋大学文学部教授）を招聘し、墨書土器の釈読の指導を受けた。2 月 23 日には増子康眞氏を招聘し、縄文土器について指導を受けた。



土器実測作業



一覧表作成作業



墨書土器の指導



縄文土器の指導

## 5 資料の保存管理

### (1) 出土品の保存管理

調査センターでは、埋文センター及び調査センターが実施した発掘調査の出土品を保管管理している。調査センターの収蔵容量の関係で、利用頻度の低い出土品は、旧知多高等学校の建物を利用して分散収蔵している。

また、国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」2,028点も収蔵している。

[出土品の収蔵状況]

保管場所		収蔵遺物（箱）			備考
		土器・石器類	その他	計	
調査センター	収蔵庫B	1,292	0	1,292	国指定重要文化財を含む。
	収蔵庫D	10,749	0	10,749	
	特別収蔵庫	0	2,628	2,628	国指定重要文化財を含む。
	収蔵庫E	0	2	2	大型木製品（点数）
	小計	12,041	2,630	14,671	
外部施設	旧知多高校	33,800	2,405	36,205	
合計		45,841	5,035	50,876	整理作業中の出土品を除く。

・特別収蔵庫は、環境変化の影響を受けやすい木器類・金属器類・骨角器等を恒温・恒湿(20℃・60%)で保管

### (2) 出土品の市町村への譲与

出土品を地元で活用したいと希望する市町村に対しては、出土品の譲与を行っている。平成28年度の譲与は実施されなかった。

平成28年度末現在の譲与実績（累計）は、8市11町に対し、78遺跡9,337箱である。

[譲与実績]

	市町村数	遺跡数	箱数
平成28年度末	7市11町	78	9,337
累計	7市11町	78	9,337

### (3) 図書資料の管理

調査センターが管理する図書資料は、研究者だけでなく一般の閲覧希望にも対応している。図書収蔵状況は、下記のとおりである。

[図書収蔵状況（平成29年3月末現在）]

蔵書数		96,644冊
(内訳)	調査報告書	65,610冊
	市町村史	1,080冊
	雑誌類	29,954冊

## 6 普及・啓発活動と研修

### (1) 資料の貸出等

出土品の収蔵は調査センターが管理し、図面・写真などの記録類は埋文センターが管理している。平成28年度は出土品84件4,418点の貸出依頼、出土資料10件343点の撮影・掲載許可依頼があった。また、研究者や学生を中心に22件の資料調査依頼があった。

#### [主な出土品の貸出]

申請者(施設)	使用目的	貸出資料	点数	貸出期間
愛知県陶磁美術館	常設展示「愛知こども考古学教室」	朝日遺跡他 出土遺物	307	継続
豊明市歴史民俗資料館	常設展示	大脇城遺跡 出土遺物	3	継続
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	常設展示	麻生田大橋遺跡 出土遺物	1	継続
瀬戸蔵ミュージアム	「戦国時代の瀬戸窯」	上品野西金地遺跡他 出土遺物	120	継続
中京大学	歴史文化学科古文書室常設	清洲城下町遺跡 出土遺物	1	継続
半田市立博物館	「知多の古窯Ⅱ—知多半島の中世窯」	刀池古窯跡群他 出土遺物	65	6/1～9/11
東浦町郷土資料館	「八巻古窯と中世常滑焼の名品」	八巻古窯群 出土遺物	8	10/13～11/2
静岡市立登呂博物館	「弥生×登呂」	朝日遺跡 出土遺物	8	9/9～12/13

#### [主な出土資料の撮影・掲載許可]

申請者(施設)	使用目的	許可資料	点数	許可日
中村由克(明治大学)	写真撮影・顕微鏡写真	上品野遺跡出土資料	1	4/28
県史編さん室	愛知県史考古5の写真掲載	土田遺跡	22	8/9
(株)エスアンド	写真掲載	桑下東窯跡出土資料	1	9/12
(株)平凡社	写真掲載	月縄手遺跡出土資料	1	10/3
東浦町教育委員会	写真掲載	八巻古窯群出土資料	31	9/29
瀬戸市文化振興財団	写真掲載	大平窯出土遺物	266	1/4
(株)北白川書房	写真掲載	名古屋城三の丸遺跡出土遺物	4	12/13

## (2) 学校授業への協力

県内の学校からの依頼を受けて、郷土学習及び歴史教育の一環として調査センター職員が講師として学校に出向き、授業への協力を行った。平成 28 年度は小学校 3 校で 3 回、中学校で 1 回、高等学校 4 校で 4 回、大学 1 校で 2 回の出前授業・体験学習を実施した。

### [出前授業等の実施内容]

学校名	対象学年	内容	実施日
知立市立知立東小学校	6 年生	・土器に触れる体験学習 ・火おこし体験	5/12
豊田市立浄水北小学校	6 年生	・縄文時代～古墳時代の道具の特徴・用途を考える 主題学習	5/16
津島市立津島南小学校	6 年生	・戦国時代の土器の特徴・用途を考える主題学習 他	7/14
弥富市立十四山中学校	2 年生	・朝日遺跡を学ぶ～円窓付土器、赤彩土器の特徴・ 用途を考えよう～	9/14
清林館高等学校	2 年生	・縄文土器～古墳時代の煮炊き具の変化を考える 他	4/28
愛知県立天白高等学校	2 年生	・朝日遺跡を学ぶ～円窓付土器、赤彩土器の特徴・ 用途を考えよう～	9/26
愛知県立海翔高等学校	2 年生	・朝日遺跡を学ぶ～円窓付土器、赤彩土器の特徴・ 用途を考えよう～ ・地震痕に学ぶ～遺跡からわかる地震被害～	10/6
愛知黎明高等学校	1・2 年、 父母他	・朝日遺跡を学ぶ～円窓付土器、赤彩土器の特徴・ 用途を考えよう～ 他	11/13
愛知東邦大学	1～4 年	・製塩土器の特徴・用途・使用場所を考える 他	6/3・6

## (3) 見学・研修の受入れ

調査センターでは、団体見学や職場体験学習などの受入れを行っている。平成 28 年度は、12 団体を受け入れた。また、豊田市下山地区において、発掘調査成果報告会を開催した。

[団体見学・職場体験・研修等の利用者数]

団体名	内容	参加人数	実施日
ローズ倶楽部	施設見学、体験学習	12名	5/27
アートヴィレッジ七宝	施設見学、体験学習	20名	11/9
愛知県立岡崎高等学校	施設見学、体験学習	14名	7/28
愛知県立高蔵寺高等学校	施設見学、体験学習	33名	10/27
弥富市立十四山中学校	職場体験	3名	5/25～27
弥富市立弥富北中学校	職場体験	5名	6/21～23
立命館大学考古・文化遺産ゼミ	施設見学、体験学習	26名	6/19
みよし市文化財保護委員	施設見学	7名	7/7
弥富市史料部	施設見学、体験学習	21名	11/26
中京大学文学部	施設見学、体験学習	17名	12/27
海部南部地区教育委員	施設見学	27名	2/21
東海高等学校父母の会	施設見学	17名	3/29

[発掘調査成果報告会]

遺跡名	内容	参加者数	実施日
豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連 北野田B遺跡	発掘調査の成果報告と出土遺物やパネルの展示	8名	2/26

(4) 埋蔵文化財調査研究会

県・市町村・関係団体の埋蔵文化財担当職員を対象に開催した。

- ・開催日 平成28年7月1日(金)
- ・参加者 52名
- ・内容 主に平成27年度に実施された発掘調査の事例発表

[発表された遺跡と調査担当組織]

遺跡名等	所在地	調査担当組織
長先遺跡	安城市	安城市教育委員会
尾張国分寺跡	稲沢市	稲沢市教育委員会
史跡小牧山	小牧市	小牧市教育委員会
船山1号墳	豊川市	豊川市教育委員会
名古屋城三の丸遺跡	名古屋市	名古屋市教育委員会
天白元屋敷遺跡	名古屋市	名古屋市教育委員会
岡崎城跡菅生川端石垣発掘調査・阿知和石切丁場分布調査	岡崎市	岡崎市教育委員会
笹平遺跡	北設楽郡設楽町	埋文センター
菅ノ口A遺跡	豊田市	調査センター

(5) その他の活動

① 調査センターでの展示

資料管理閲覧室において見学者のための常設展示を行っている。また、春季及び秋季には、ロビーの展示ケースにおいて、国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の特別公開を実施した。

【調査センター見学者】

区 分		期間別見学・利用者数		見学・利用者数合計
常設展示期間	個 人	768 名	881 名	2,084 名
	団 体	113 名		
特別公開期間	個 人	1,179 名	1,203 名	
	団 体	24 名		

【重要文化財特別公開】

イベント	実施日	内 容	来場者数
春の特別公開 2016	4/2(土)～17(日)	国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の展示 火おこし体験 ※4/2(土)・3(日)のみ	1,130 名
秋の特別公開 2016	10/28(金)～11/11(金)	国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の展示 拓本体験 ※10/29(土)・30(日)のみ	73 名

② 埋蔵文化財展

7月2日(土)から8月28日(土)まで愛知県陶磁美術館において『弥生への旅 朝日遺跡 2000年前のキャラヴァンサライ』を開催し、展示や講座、ワークショップ、バックヤードツアーなどのプログラムを実施した。(主催：愛知県陶磁美術館・愛知県教育委員会・(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団)

③ Webページ (アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html>)

愛知県公式Webサイト内に開設した調査センターのWebページで、事業内容、利用案内などとともに、発掘調査報告や活動報告などの情報発信を行っている。

【Webの主な項目と更新回数】

項 目	内 容	更新回数	
発掘調査報告	調査センターが行っている発掘調査の情報等	3 回	64 回
整理作業報告	調査センターが行っている整理作業の情報等	5 回	
活 動 報 告	発掘調査以外の活動情報(特別公開・見学会・出前授業などの実施報告等)	46 回	
お 知 ら せ	調査センターが関わる展覧会の紹介や特別公開・見学会などの案内等	5 回	
そ の 他	入札の結果、年報、過去の掲載記事等	5 回	

## 7 施設の概要

### (1) 設置時期

昭和 62 年 (1987 年) 12 月 1 日

### (2) 施設規模

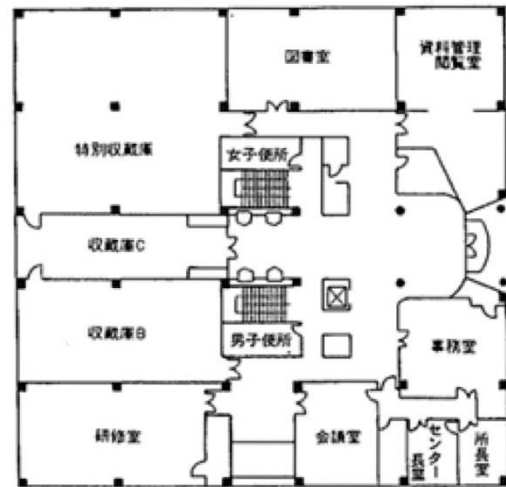
鉄筋コンクリート造 3階建

延床面積 3,930.44 m<sup>2</sup> 敷地面積 3,300 m<sup>2</sup>

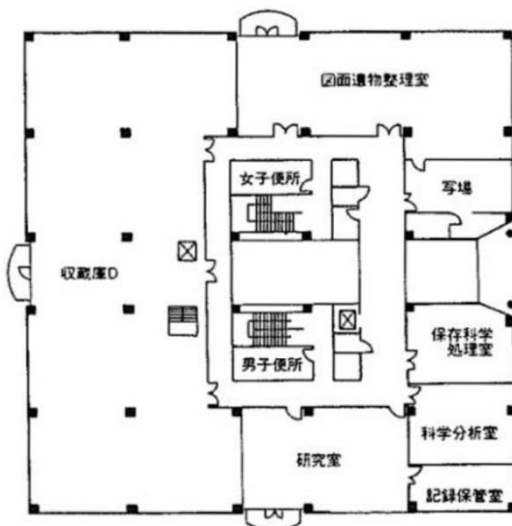
### (3) 各階平面図



1階 1,124.45 m<sup>2</sup>



2階 1,391.45 m<sup>2</sup>



3階 1326.81 m<sup>2</sup>



愛知県埋蔵文化財調査センター年報（平成 28 年度）

平成 29 年 3 月 31 日

編集・発行 愛知県埋蔵文化財調査センター  
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24  
TEL 0567-67-4164 FAX 0567-65-1841  
Email [maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp](mailto:maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp)